

Sun Java™ System Directory Server リリースノート (圧縮アーカイブ用)

バージョン 5.2 2005Q1

Part No. 819-2596

このリリースノートには、Sun Java System Directory Server 5.2 2005Q1 の圧縮アーカイブ (patchzip) に関する重要な情報が含まれています。

このリリースノートの最新版は、Sun Java System マニュアル Web サイト <http://docs.sun.com/app/docs/prod/entsys?l=ja> から入手できます。ソフトウェアをインストールおよび設定する前に、この Web サイトを参照してください。また、その後も定期的に Web サイトを参照して、最新のリリースノートやマニュアルを確認してください。

このリリースノートは、次の節で構成されています。

- [リリースノートの変更履歴](#)
- [Directory Server 5.2 2005Q1 について](#)
- [今回のアップデートで修正されたバグ](#)
- [インストール情報](#)
- [既知の問題点と制限事項](#)
- [問題の報告とフィードバックの方法](#)
- [その他の情報](#)

このリリースノートでは、サードパーティーの URL も示し、補足的な関連情報を提供しています。

注 Sun は、このリリースノートに記載されているサードパーティーの Web サイトにアクセス可能かどうかについて責任を負いません。また、Sun は、サードパーティーのサイトまたはリソースにおいて提供される、またはそれらのサイトやリソースを通して提供される、コンテンツ、広告、製品、または他の資料に関して、その内容を保証するものではなく、責任や義務を負うものではありません。さらに、サードパーティーのサイトまたはリソースにおいて提供される、またはそれらを通して提供される、コンテンツ、商品、またはサービスの使用、またはそれらへの依存によって、あるいはそうした使用または依存に関係して生じた、実際の、または生じたと主張される被害や損失に関しても、責任や義務を負いません。

リリースノートの変更履歴

表 1 変更履歴

日付	変更点
2005年3月18日	商用リリース版

Directory Server 5.2 2005Q1 について

これは Directory Server 5.2 の圧縮アーカイブインストールの保守アップデートです。このアップデートは、Directory Server 5.2 でのみ実行できます。このアップデートは、Directory Server 5.2 より前の Directory Server のバージョンでは実行できません。

このリリースノートでは、Directory Server 5.2 2005Q1 の圧縮アーカイブに関する問題について説明しています。Directory Server 5.2 2005Q1 に関する新機能、拡張機能、既知の問題、制限事項などについては、本体の Directory Server リリースノートで説明しています。

サポートされるプラットフォーム

Directory Server 5.2 2005Q1 は次のプラットフォームで使用できます。

- Sun Solaris 8 for UltraSPARC (32 ビットおよび 64 ビット)
- Sun Solaris 9 for UltraSPARC (32 ビットおよび 64 ビット)
- Sun Solaris 10 for SPARC (64 ビット)
- Sun Solaris 9 for x86 (IA-32)
- Sun Solaris 10 for x86 (IA-32)
- Microsoft Windows 2000 Server および Advanced Server SP 4 (IA-32)
- Microsoft Windows Server 2003 Enterprise Edition (IA-32) (SP1 を含む)
- Microsoft Windows Server 2003 Standard Edition (IA-32) (SP1 を含む)
- Red Hat Linux AS 2.1 U3
- Red Hat Linux AS 3.0 U2
- Hewlett-Packard HP-UX 11i PA-RISC 1.1 または 2.0 (32 ビットおよび 64 ビット)

- IBM AIX 5.2 (Power PC) (32 ビット)

Directory Server 5.2 のオリジナルリリースは、IBM AIX 5.2 で検証されていません。ただし、このアップデートリリースは IBM AIX 5.2 で検証されています。Directory Server 5.2 のオリジナルリリースは、IBM AIX 5.1 で検証されていますが、IBM は現在 IBM AIX 5.1 をサポートしていません。

一部のオペレーティングシステムでは、Directory Server 5.2 2005Q1 をインストールする前に、パッチのインストールが必要になる場合があります。詳細については、Directory Server 5.2 の初期リリースで提供されている『Directory Server インストールおよびチューニングガイド』を参照してください。Solaris のパッチは、<http://sunsolve.sun.com> から入手できます。

今回のアップデートで修正されたバグ

この節では、Directory Server 5.2 2005Q1 の圧縮アーカイブに固有の修正されたバグについて説明します。Directory Server 5.2 2005Q1 製品で修正されたバグの一覧については、本体の Directory Server リリースノートを参照してください。

表 2 Directory Server 5.2 2005Q1 の圧縮アーカイブで修正されたバグ

バグ番号	説明
4710132	Directory Server を Microsoft Terminal Services からインストールできません。
4843693	-l オプションを使用して、startconsole コマンドを実行すると、ロケールが正しく設定されません。
4937303	韓国語および日本語版の Windows 2000 に Directory Server をインストールすると、アプリケーションログ (「設定」 > 「コントロールパネル」 > 「管理ツール」 > 「イベントビューア」) に警告メッセージが生成されます。
5063342	PATCHZIP: 「新規ロールの作成」 ウィンドウが開きません。

インストール情報

パッチ要件とインストールについては、次の節を参照してください。

- [パッチ要件](#)
- [全般的なインストール情報](#)

パッチ要件

この節では、このリリースに対応するパッチの一覧を示します。パッチは、<http://sunsolve.sun.com> から入手できます。

表 3 Directory Server 5.2 2005Q1 の圧縮アーカイブ用の整合パッチ

プラットフォーム	必要なパッチ	説明
AIX	117670-02	Directory Server 5.2 patch 3: コアパッチ - AIX5.2
HP-UX	117669-02	Directory Server 5.2 patch 3: コアパッチ - HP-UX11i
Linux	117668-02	Directory Server 5.2 patch 3: コアパッチ - patchzip: RHAS 2.1/RHAS 3.0
Solaris	117665-02	Directory Server 5.2 patch 3: コアパッチ - patchzip for Solaris
Solaris_i86pc	117666-02	Directory Server 5.2_x86 patch 3: コアパッチ - patchzip for Solaris
Windows	117667-02	Directory Server 5.2 patch 3: コアパッチ - Microsoft Windows

地域対応されたパッチは、使用しているオペレーティングシステムと関係ありません。地域対応されたパッチの ID は次のようになります。

表 4 Directory Server 5.2 2005Q1 の圧縮アーカイブ用の地域対応パッチ

言語	必要なパッチ	説明
de	117798-02	Directory Server 5.2 patch 3: ドイツ語 (DE) 地域対応リソース - (patchzip)
es	117799-02	Directory Server 5.2 patch 3: スペイン語 (ES) 地域対応リソース - (patchzip)
fr	117800-02	Directory Server 5.2 patch 3: フランス語 (FR) 地域対応リソース - (patchzip)
ja	117801-02	Directory Server 5.2 patch 3: 日本語 (JA) 地域対応リソース - (patchzip)
ko	117802-02	Directory Server 5.2 patch 3: 韓国語 (KO) 地域対応リソース - (patchzip)
zh	117803-02	Directory Server 5.2 patch 3: 簡体字中国語 (ZH) 地域対応リソース - (patchzip)
zh_TW	117804-02	Directory Server 5.2 patch 3: 繁体字中国語 (ZH_TW) 地域対応リソース - (patchzip)

全般的なインストール情報

インストールについては、次の節を参照してください。

- [「インストールに関する注意点」](#)
- [「インストールの手順」](#)

インストールに関する注意点

このパッチをインストールする前に、次の注意点をお読みください。

- Directory Server の複数のインスタンスで、同じ Configuration Directory Server を共有している場合は、すべてのインスタンスを同じバージョンにアップグレードする必要があります。
- 意図的に停止した Directory Server のインスタンスがインストールスクリプトによって再起動された場合は、アップグレード後にこれらのインスタンスを手動で停止してください。
- Windows システムでの IPv6 のサポートは詳細にはテストされていません。
- patchzip のインストール時に次のメッセージが表示されることがあります。

```
Server has detected a disorderly shutdown or a change in cache size  
Recovery phase is starting, this may take a while...
```

このメッセージを無視します。

インストールの手順

次の手順は、目的のホストへの Directory Server と Administration Server の完全インストールに適用されます。ほかの種類インストールの手順については、圧縮アーカイブの README ファイルを参照してください。

この節では、<SERVER ROOT> ディレクトリに Directory Server 製品がインストールされています。

▶ Unix プラットフォームで Directory Server 5.2 2005Q1 の圧縮アーカイブをアップグレードするには

1. すべてのコンソールウィンドウを閉じます。インストールスクリプトの実行時にコンソールが開いていると、スクリプトはコンソールバイナリをアップグレードできません。
2. gzip で圧縮された tar アーカイブを展開します。

```
# mkdir <MyDirectory>  
# cd <MyDirectory>  
# cp <package>.tar.gz .  
# gunzip <package>.tar.gz  
# tar xvf <package>.tar
```

3. <SERVER ROOT> の所有者として、次のいずれかのコマンドを使用して、インストールスクリプトを実行します。

- コマンド 1: `./install.sh <SERVER ROOT> <ADMIN ID> <ADMIN PASSWORD>`

コマンドと一緒に ID とパスワードを入力します。

- コマンド 2: `./install.sh <SERVER ROOT>`

ID とパスワードは対話によって要求されます。

- コマンド 3: `./install.sh <SERVER ROOT> -f <CREDENTIAL FILE>`

ID とパスワードはファイル <CREDENTIAL FILE> の次の行に指定します。

Admin Id: <ADMIN ID>

Admin Password: <ADMIN PASSWORD>

インストールスクリプトにより、Directory Server が再起動されます。

► Windows プラットフォームで Directory Server 5.2 2005Q1 の圧縮アーカイブをアップグレードするには

1. 管理者または管理者グループのメンバーになります。
2. すべてのコンソールウィンドウを閉じます。インストールスクリプトの実行時にコンソールが開いていると、スクリプトはコンソールバイナリをアップグレードできません。
3. イベントビューアを閉じます。
4. zip アーカイブを展開します。

```
# mkdir <MyDirectory>
```

```
# cd <MyDirectory>
```

```
# cp <ZIP file> .
```

```
# unzip <ZIP file>
```

5. <SERVER ROOT> にある Directory Server のすべてのインスタンスを停止します。

6. 次のいずれかの方法でインストールスクリプトを実行します。

- <SERVER ROOT>、<ADMIN ID>、または <ADMIN PASSWORD> に特殊文字が含まれていない場合は、次のコマンドを実行します。

```
# install.bat <SERVER ROOT> <ADMIN ID> <ADMIN PASSWORD>
```

- <SERVER ROOT>、<ADMIN ID>、または <ADMIN PASSWORD> に特殊文字が含まれている場合は、次のコマンドを実行します。

```
# lib¥nsPerl5.005_03¥bin¥MSWin32-x86¥perl.exe upgrade.pl /  
"<SERVER ROOT>" "<ADMIN ID>" "<ADMIN PASSWORD>"
```

特殊文字を含む値は、二重引用符 ("") で保護する必要があります。スペースを含む値はサポートされていません。

インストールスクリプトにより、Directory Server が再起動されます。

7. システムをリブートします。

► **地域対応された環境で Directory Server 5.2 2005Q1 の圧縮アーカイブをアップグレードするには**

1. 前の手順で説明したように、使用しているオペレーティングシステムに対応する圧縮アーカイブの英語版をアップグレードします。
2. ロケールに対応するパッチファイルを /tmp ディレクトリまたはほかの任意のディレクトリに抽出します。
3. Unix プラットフォームで <SERVER ROOT> の所有者として、または Windows プラットフォームで管理者として、既存のファイルを上書きする -o オプションを使用して、パッチファイルを解凍します。次に例を示します。

```
# unzip -o 5.2_Patch_3-ja.zip -d <SERVER ROOT>
```

既知の問題点と制限事項

この節では、Directory Server 5.2 2005Q1 の圧縮アーカイブの既知の問題点と制限事項について説明します。Directory Server 5.2 2005Q1 製品の既知の問題点と制限事項については、本体の Directory Server リリースノートを参照してください。問題点は次のカテゴリに分類しています。

- [インストール、アンインストール、および移行](#)
- [レプリケーション](#)
- [Directory Server コンソール](#)
- [コアサーバー](#)
- [その他](#)

インストール、アンインストール、および移行

Directory Proxy Server をデフォルトの起動順で Windows 2000 Advanced Server にインストールすると、サービスがハングアップする (#4903795)

回避策

サービスのハングアップを防ぐには、デフォルトの起動順 (Directory Proxy Server、Administration Server、Directory Server の順) を使用せず、Directory Server をインストールしてから、Directory Proxy Server、次に Administration Server をインストールします。

Directory Server 5.2 を AIX 5.1 にインストールすると成功するが、誤ったエラーが表示される (#4911828)

Directory Server 5.1 Service Pack 2 を実行する Windows マシンに Directory Server 5.2 をインストールすると失敗する (#4974775)

回避策

Directory Server 5.1 Service Pack 2 インスタンスをシャットダウンし、エラーログに示されている nsldap32v50.dll ファイルの名前を変更するか、ファイルを削除してから、再度 5.2 のインストールを実行します。

Windows でデフォルトのサーバールートを使用した場合 (c:\Program Files\Sun\MPS)、migrateinstance5 スクリプトが失敗し、ユーザーが前のバージョンから Directory Server 5.2 に移行できない (#4985979)

Administration Server または Directory Server がルートとしてインストールされている場合、アンインストールもルートとして実行する必要がある (#5014882)

アンインストールをルートとして実行しないと、製品レジストリが正しく更新されません。

Linux プラットフォームでは、圧縮アーカイブをアップグレードする前に、Unzip ユーティリティをインストールする必要がある (5057611)

Linux プラットフォーム用の圧縮アーカイブには、unzip ユーティリティが付属していません。Linux プラットフォームでは、圧縮アーカイブをアップグレードする前に、unzip ユーティリティをインストールします。ほかのプラットフォームでは、unzip ユーティリティが圧縮アーカイブに付属していません。

Windows プラットフォームで、Windows イベントビューアが開いている場合に、このアップデートリリースをインストールすると失敗する (#5061260)

アップデートを起動する前にイベントビューアを閉じます。

Windows プラットフォームでコンソールからインスタンスを作成する場合の複数のオプション (#6230829)
コンソールを使用して新しいインスタンスを作成すると、複数のオプションが提供されます。

この問題は、Directory Server 5.2 2005Q1 および Directory Server 5.2 2004Q2 の圧縮アーカイブ (patchzip) を使用して、Directory Server 5.2 からアップグレードした場合に発生します。

回避策

いずれかのオプションを選択します。オプションの違いはありません。

HP-UX プラットフォームへの Directory Server のみのインストールの場合に、Configuration Directory Server でコンソールを開くことができない (#6234242)

HP-UX プラットフォームで、Directory Server のみをインストールした場合、ロケールを英語と指定しないと、関連する Configuration Directory Server でコンソールを開くことができません。

回避策

Configuration Directory Server で次のいずれかの回避策を実行します。

- コンソールを開く前に、ロケールを英語に設定する
- コマンド `startconsole -l en` を実行して、コマンド行からコンソールを読み込む

「Can't create logfile」というメッセージが表示され圧縮アーカイブのアップグレードが失敗する (#6238257)
圧縮アーカイブを使用して、Directory Server 5.2 から Directory Server 5.2 2005Q1 にアップグレードすると、アップグレードが失敗し、次のエラーメッセージが表示されることがあります。

```
sh ./install.sh <server_root> <admin_id> <admin_pwd>  
Can't create logfile: Permission denied at upgrade.pl line 272.
```

回避策

アップグレードを実行する前に、ログファイル `/var/tmp/sync-log` を削除します。

アップグレードを開始している場合は、ログファイル `/var/tmp/sync-log` を削除してから、アップグレードに戻ります。

レプリケーション

ローカルマシンで変更したスキーマが、コンシューマデータベースが作成されたときに上書きされることがある (#4537230)

レプリケーション監視ツールは、cn=config への読み取りアクセスに依存して、レプリケーションの状態を取得します。SSL を介してレプリケーションを設定する場合は、この点を考慮する必要があります。

Directory Server 5.2 では、スキーマファイル 11rfc2307.ldif が rfc2307 に合わせて変更されています。5.2 サーバーと 5.1 サーバーの間でレプリケーションが有効になっている場合は、5.1 サーバー上で rfc2307 スキーマを訂正する必要があります。訂正しない場合、レプリケーションは正しく動作しません。

回避策

Directory Server 5.2 と Directory Server 5.1 の間でレプリケーションを正しく行うには、次の手順を実行します。

- zip インストールの場合は、10rfc2307.ldif ファイルを 5.1 のスキーマディレクトリから削除し、5.2 の 11rfc2307.ldif ファイルを 5.1 のスキーマディレクトリにコピーします。
- 次のファイルを 5.2 のスキーマディレクトリから 5.1 のスキーマディレクトリにコピーして、5.1 のファイルを上書きします。
11rfc2307.ldif、50ns-msg.ldif、30ns-common.ldif、50ns-directory.ldif、50ns-mail.ldif、50ns-mlm.ldif、50ns-admin.ldif、50ns-certificate.ldif、50ns-netshare.ldif、50ns-legacy.ldif、および 20subscriber.ldif。
- Directory Server 5.1 サーバーを再起動します。
- Directory Server 5.2 サーバーで、cn=config の下にある nsslapd-schema-repl-useronly 属性を on に設定します。
- 両方のサーバーでレプリケーションを設定します。
- レプリカを初期化します。

最初に、ほかのスキーマ要素が同期されるときに、特定のスキーマ属性がサーバー間でレプリケートされます。この操作により問題が発生することはありません。スキーマの変更方法の詳細は、「[全般的なインストール情報](#)」を参照してください。

Directory Server コンソール

Windows 2000 Service Pack 4 で、実行されていないディレクトリインスタンスをコンソールから削除できない (#4962625)

Windows 2000 Service Pack 4 では、インスタンスが実行されていない場合は、Directory Server コンソールからそのインスタンスを削除できません。

回避策

Directory Server コンソールを使用してインスタンスを削除する前に、それが実行されていることを確認します。

コアサーバー

-s オプションで指定されたエクスポートされるサフィックスにサブドメインが含まれる場合に、Windows で db2ldif コマンドが失敗する (#4952347)

bak2db コマンドで不要なエラーメッセージが生成される (#5068357)

bak2db コマンドを Windows プラットフォームで実行すると、不要なエラー 20741 および 20742 が生成されることがあります。これらのエラーは誤ったエラーです。

回避策

エラー 20741 および 20742 によって生成されたメッセージは無視してください。

その他

HP-UX の IPv6 で SNMP がサポートされない (#4970378)

再配布可能なファイル

Sun Java System Directory Server 5.2 2005Q1 には、再配布可能なファイルは含まれていません。

問題の報告とフィードバックの方法

このアップデートで問題が発生した場合は、次のいずれかの方法で Sun カスタマサポートにご連絡ください。

- Sun Software Support Services
<http://www.sun.com/service/sunone/software>
このサイトには、Online Support Center および ProductTracker へのリンクと、保守プログラムやサポートの連絡先電話番号へのリンクがあります。
- SunSolve サポート Web サイト
<http://sunsolve.sun.com>
このサイトには、パッチ、サポートドキュメント、セキュリティ情報、および Sun System Handbook があります。
- 保守契約先に電話連絡してください。

最善の問題解決のため、サポートに連絡するには次の情報をご用意ください。

- 問題が発生した状況および操作への影響などの、問題の具体的説明
- マシン機種、OS バージョン、および製品のバージョン (問題に関係するパッチおよびその他のソフトウェアを含む)
- 問題を再現するための具体的な手順の説明
- エラーログまたはコアダンプ

Sun Java System Directory Server のトピックについて情報交換されている以下の推進団体への参加も役立ちます。<http://swforum.sun.com>

コメントの送付先

Sun では、マニュアルの品質を向上するために、お客様からのコメントや提案をお待ちしております。Web ベースの書式を使用して、Sun にフィードバックしてください。
<http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

マニュアルのタイトル全体と Part No. を適切なフィールドに入力してください。Part No. は、マニュアルのタイトル ページまたはドキュメントの先頭に記載されており、通常は 7 桁または 9 桁の番号です。たとえば、このリリースノートの Part No. は、819-2596 です。

その他の情報

次の Web サイトには、役立つ Sun Java System 情報があります。

- Sun Java System マニュアル
<http://docs.sun.com/app/docs/prod/entsys.05q1?l=ja#hic>
- Java Enterprise System ソフトウェアサービス
<http://www.sun.com/service/sunone/software>
- Sun Java System ソフトウェア製品およびサービス
<http://www.sun.com/software>
- Sun Java System サポートおよび Knowledge Base
<http://sunsolve.sun.com>
- Sun サポートおよびトレーニングサービス
<http://www.sun.com/supporttraining>
- Sun Java System コンサルティングおよびプロフェッショナルサービス
<http://www.sun.com/service/sunone/software>
- Sun 開発者向け情報
<http://developers.sun.com>
- Sun 開発者サポートサービス
<http://www.sun.com/developers/support>
- Sun ソフトウェアのデータシート
<http://www.sun.com/software>

Copyright © 2005 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

本書で説明する製品で使用されている技術に関連した知的所有権は、Sun Microsystems, Inc. に帰属します。特に、制限を受けることなく、この知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> の一覧に示される米国特許、および米国をはじめとする他の国々で取得された、または申請中の特許などが含まれています。

SUN PROPRIETARY/CONFIDENTIAL.

U.S. Government Rights - Commercial software. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

使用は、使用許諾契約の条項に従うものとします。

本製品には、サードパーティが開発した技術が含まれている場合があります。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいて開発されている場合があります。

Sun、Sun Microsystems、Sun ロゴ、Java、および Solaris は、米国およびその他の国における Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用されている、米国および他の国々における同社の商標または登録商標です。

その他の情報